

科目名		授業形態		担当教員名	
電気・電子工学演習		演習		福田 博也・武川 公 野村 大樹・林田 健・日妻 晋二	
時間数（単位数）		授業回数		年次	
60 時間（2 単位）		30 回		2 年次	
				後期	
授業の目的・概要					
これまでに学んだ電気・電子工学の理論を踏まえ、実際の回路を用いた実験を行い、理論の再確認と理論と実際の違いを認識させる。実験は、ブレッドボードを用いることで、各自が実験に主体的に取り組める環境を提供する。					
授業の到達目標					
1) 電気に関する理論を体験学習を通して具体的に理解する。 2) 電気に関する計器・測定器・各種機器について理解を深め、その正しい取り扱い方を習得する。 3) 電気に関する諸量を正確に測定し、その結果を正しく取り扱い、合理的に整理し、検討・考察する能力を養う。					
授業計画					
回	内容		回	内容	
1	電気工学演習の説明		16	クリップの動作確認	
2	各種器具の使用法および注意事項の説明		17	全波整流回路の動作確認	
3	オームの法則の実験		18	トランジスタの静特性の測定	
4	抵抗の直並列回路の実験		19	オペアンプ回路の作製(電源・反転・非反転・微分・積分回路)	
5	分流器の実験、直列抵抗器(倍率器)の実験		20	オペアンプ回路の作製(電源・反転・非反転・微分・積分回路)	
6	最大電力供給条件に関する実験		21	反転増幅回路、非反転増幅回路の入出力特性の測定	
7	容量性リアクタンスの周波数特性		22	反転増幅回路の周波数特性の測定	
8	誘導性リアクタンスの周波数特性		23	ハイパスフィルタ、ローパスフィルタの周波数応答	
9	RLC直列共振回路の特性測定		24	バンドパスフィルタの周波数応答	
10	LC並列共振回路の特性測定		25	半導体素子による論理回路 (OR、AND)	
11	RC直列回路の過渡特性測定(充電、放電)		26	半導体素子による論理回路 (NOT、NOR、NAND)	
12	微分波形、積分波形の確認		27	ド・モルガンの法則の実験	
13	レポート指導・電気工学のまとめ		28	ICを用いた組合せ論理回路、EX-OR回路の実験	
14	電子工学演習の説明		29	レポート指導および電子工学のまとめ	
15	ダイオードの電圧-電流特性の測定(順方向・逆方向)		30	レポート指導および電子工学のまとめ	
成績の評価方法と基準					
種別	割合	評価基準・その他備考			
筆記試験					
レポート・課題	100%				
小テスト					
平常点					
その他					
自由記載	すべての実験に参加し、すべてのレポートを提出していることが成績評価のための前提となる。				
教科書					
書名	著者・編集者名			出版社名	
なし					
自由記載					
参考文献					
書名	著者・編集者名			出版社名	
臨床工学講座 医用電気工学 1	戸畑 裕志・中島 章夫			医歯薬出版株式会社	
臨床工学講座 医用電子工学	中島 章夫			医歯薬出版株式会社	
自由記載					
備考					
各人が積極的に協力し合い、決して傍観的な態度はとらないようにすること。					